

3. 経営成績

(1) 当期(平成12年4月1日~平成13年3月31日)の概況

a. 連結の範囲

当連結会計期間末の連結の範囲は、連結財務諸表の作成方針に記載しておりますとおり、連結子会社は290社、持分法適用関連会社は91社となっております。

b. 業績の概要

資金利益は、貸出金利息2兆4,724億円、預金・債券利息9,648億円などにより1兆3,539億円、「役務取引等利益」は、4,279億円、信託報酬は、主にみずほ信託銀行・安田信託銀行によるもので、651億円となっております。また、「特定取引利益」は1,565億円となり、「その他業務利益」は、債券の売却損益1,336億円などにより、1,458億円となりました。

以上により連結粗利益は2兆1,493億円となりました。

営業経費は、1兆2,286億円となりました。

与信関係費用は、グループ全体で厳格な自己査定等に基づく償却・引当を実施しました結果8,519億円となり、株式関係損益は、株式ポートフォリオの圧縮などにより5,150億円となりました。

連結粗利益に営業経費、与信関係費用、株式関係損益、持分法投資利益などを加えまして、連結経常利益は5,748億円となりました。

特別損益は退職給付会計導入に伴い、会計基準変更時差異の費用処理などにより947億円の損失となり、連結経常利益に特別損益を加えまして、税金等調整前当期純利益は4,800億円となっております。

税金等調整前当期純利益に法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額、少数株主利益を加味しました連結当期純利益は2,112億円となりました。

総資産につきましては、163兆4,554億円、資本勘定につきましては6兆2,542億円となっております。

c. 自己資本比率

連結自己資本比率(国際統一基準)は、11.39%(速報値)となっております。

d . キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、2兆9,187億円の増加となり、投資活動によるキャッシュ・フローは3兆3,621億円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローは3,347億円の減少となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当期末残高は、2兆2,198億円となりました。

e . セグメントの状況

所在地別セグメントは、日本、米州、アジア・オセアニア、欧州に区分して記載しております。連結経常利益5,748億円に占める割合は、日本76%、米州17%、他となっております。

また、海外経常収益は連結経常収益5兆7,569億円のうち1兆7,423億円となっております。

なお、連結会社は銀行業以外の業務も営んでおりますが、それらの事業の全セグメントに占める割合が僅少であるため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

(2) 翌期(平成13年4月1日~平成14年3月31日)の見通し

平成13年度の連結業績見通しとして、経常収益は5兆1,000億円、経常利益は5,800億円、当期純利益は2,700億円を見込んでおります。